

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年8月2日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>POE BACKS BABY COMICS いいなり催眠ラブハメ3P 令和4年7月10日発行</p>	<p>性描写は擬音や体液描写が多く白抜きに見える性器も半透明な描き方で強調されている。幼なじみ3人だけの関係を描いたものでストーリー展開としてもシンプルに見え、暴力的な描き方がないにしても催眠を使い相手を思うようにさせる行為は青少年に勘違いさせることになる。指定該当。</p> <p>催眠術の使用は、最終的には合意に至るとは言え、結果が手段を正当化するメッセージを与える可能性がある。全編ほとんど性交シーンが繰り返され、幼なじみの関係が、性的な関係へと変化していく様子が描写されている。性器描写はボカされているが形状ははっきりしており、体液、擬音の描写も過激である。卑わい感はぬぐえず、指定該当。</p> <p>修整が甘いところがあり、性描写もあり、指定該当やむなし。</p> <p>トーンを落としてはいるものの、性器描写がはっきり分かり、且つ性器から体液が出ている描写もある。刑法としての問題も考えられる。指定やむなし。</p> <p>擬音や体液が多く、催眠をきっかけにした3人のSEXプレイがほとんど。男性器も薄い、はっきりわかる。指定該当やむなし。</p> <p>全編通して、体液、擬音描写が多い。性器の修整が甘く、卑わいである。指定該当。</p> <p>性交シーンや体液描写が多い。性器がうっすらと形が分かるくらいの修整しか施されていない。催眠術の信憑性はさておき、本人の自覚がないまま性交しているという流れは人格否定的と考える。指定該当やむなし。</p> <p>3人の登場人物の性交シーンを見せることが主題の作品。一見穏やかに展開していくが、催眠術という設定は、人格否定ともとれる。性的シーンの描写手法及び修整の配慮も見られないため、青少年には不適切。成人向けに販売するのが妥当。指定該当やむなし。</p> <p>3人の男のこの友情から愛情に代わる青春BLコミック。催眠術から性行為に及ぶくだりが、実は相思相愛だったとはいえ、少し気になる。男性器の消しの甘さ。消し方に特徴ある方法を用いているが、カットによっては消しが認識しづらい。さらに男性器の登場回数が青年レベルを超えているので指定該当やむなし。</p> <p>修整は薄くして半透明であり、性器が描きこまれているのが確認でき強調されている。体が透けて挿入されている局部を描くところはことさら強調されている。結果として合意があっても、合意なしの性行為を正当化しているという誤解を招く。性シーンは多く、指定該当やむなし。</p> <p>相手の意思を考慮せず(催眠術)性行為に持ち込もうとするのは、人格否定につながるかもしれない。性器の修整も甘く、性行為シーンも多い。指定該当やむなし。</p> <p>全体的に性交シーンが多く、ストーリー性はやや薄く感じる。性器の修整は一応なされているものの、アリバイ的でほとんど消していないに等しい。形状、質感がわかるほど細かく描かれ卑わいである。擬音・体液描写も非常に多い。催眠術をかけて性交に及ぶというフィクションだが、同意なきセックスを許容するものとして青少年に悪い誤解を与えると危惧する。指定該当やむなし。</p> <p>セックスの描写が多すぎる。性器のぼかしが甘い。催眠(術)を使って友人とはいえ意識を失わせているのが気になる。総合的に考え保留。</p> <p>性器修整は甘めでスクリーントーンでぼかしているとは言え、形状が分かる部分も散見される。人格を否定する性的行為とまでは言えないが、催眠状態ではっきりとした合意のない性的行為が描かれており、問題がないとは言えない。保留。</p> <p>ストーリーに強制的、暴力的、人格否定的な描写はなく、比較的ソフトなイメージ。全体的に性描写が多く、擬音が多いページもあるが少しコミカルに描かれており、それほど卑わい感は感じない。局部についても白抜きの配慮はされており総合的にみて指定非該当。</p>